富士市立神戸小学校

学校便り 神戸っ子

平成31年２月１日

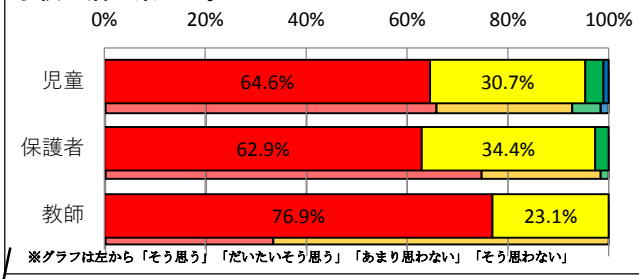
2月号その2 後期学校評価報告

学校教育目標　「つながろう　やりぬこう」

重点目標　「すすんで　やる子」

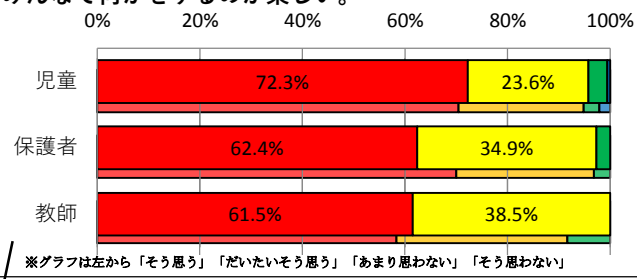
※前期グラフと重ねてあります。

学校生活が楽しい。



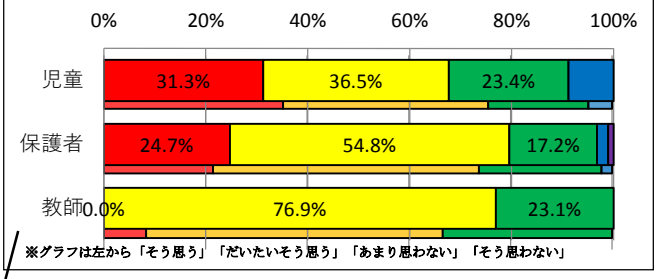
教職員の肯定評価が大きく伸びました。子どもや保護者の評価は若干下がっていますが、客観的に見て子どもたちは学校生活を楽しんでいると判断しました。

みんなで何かをするのが楽しい。



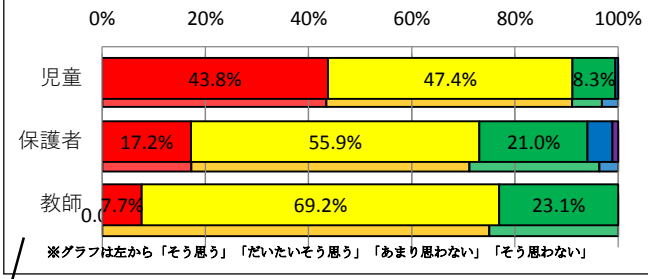
後期は、持久走大会やふれあい祭りなど、みんなで取り組んだ行事が続いたため、児童と教職員の肯定評価が伸びました。

自分の考えや意見をよく発表している。



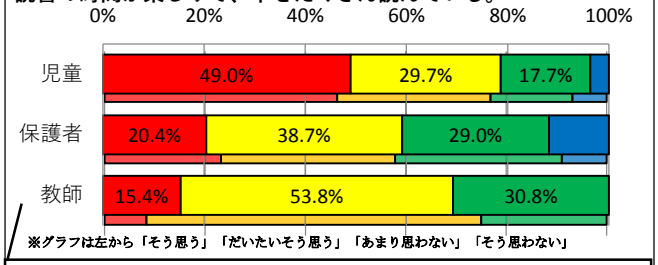
「教室はまちがうところだ」意識させてきましたが、自分の考えをすすんで発表することには抵抗がある子が多いようです。さまざまな場面で自信をもたせたいと思います。

友達の考えや意見をしっかり聞いている。



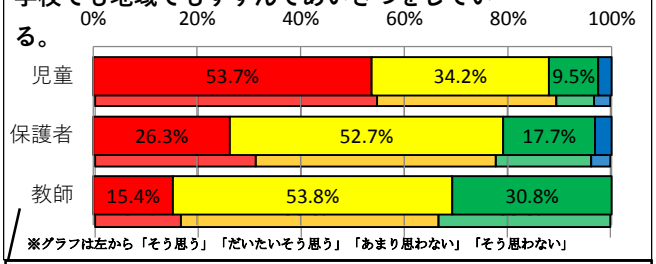
子どもたちが友だちの発言を「聞きたくなる」「聞いていないと困る」場面を意図的に設定しながら、子どもたちの「聴く」力をさらに伸ばしたいと思います。

読書の時間が楽しみで、本をたくさん読んでいる。



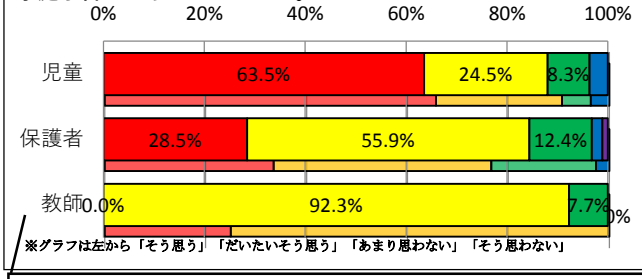
子どもたちは、授業中に図書室利用ができるととても喜びます。決して本が嫌なのではなく、生活の中に本のための時間を割けないのだと感じます。ノーメディア時間と関連させながら、読書時間の確保を家庭生活でも確保していただきたいと思います。

学校でも地域でもすすんであいさつをしている。



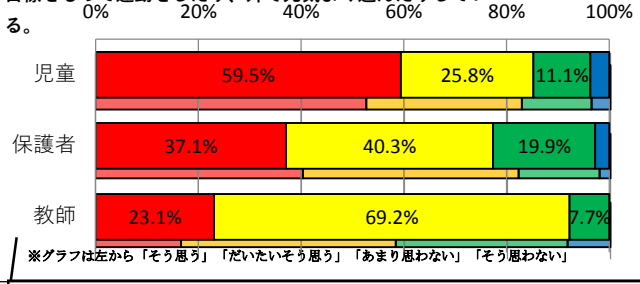
毎年寒くなってくると、さらに挨拶ができなくなる傾向にあります。登下校中の子どもからの挨拶を拡げていくために、大人から積極的にあいさつの声かけをお願いしたいと思います。

家庭学習をきちんとしている。



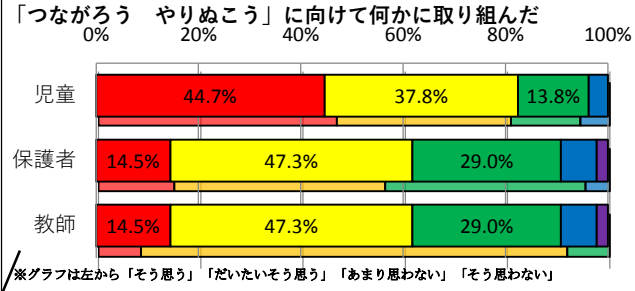
木曜日は「ノー宿題デイ」を試行しています。その他の曜日は計画的な家庭学習に取り組んでほしいと思います。また、ノー宿題デイで空いた時間を有効に活用できることも望んでいます。

目標をもって運動をしたり、外で元気よく遊んだりしている。



持久走大会や長縄８の字の練習に向けて、目標をもって練習する姿がたくさん見られました。朝のわずかな時間を見つけて、すすんで運動する子も多くなってきました。

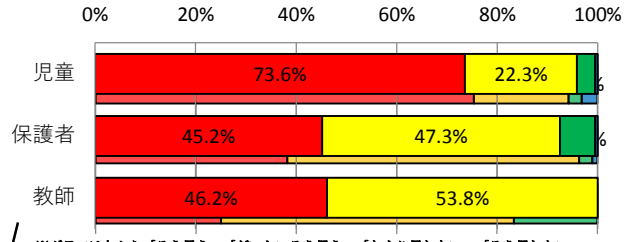
「つながろう　やりぬこう」に向けて何かに取り組んだ



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」

「つながろう」には、本物（ひと・もの・こと）にふれる意味も含まれています。そこに感動が生まれることで子どもたちの意識もさらに高まるのではないかと考えます。

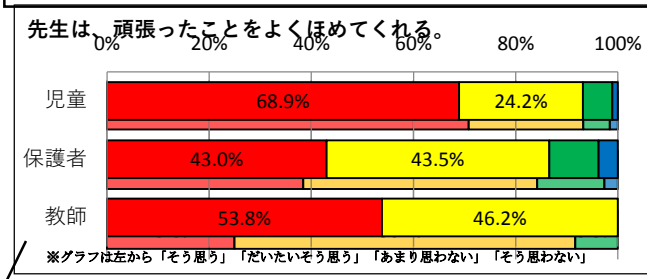
先生は、話をよく聞いてくれる。



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」

教師の意識は高まりました。さらに子どもの声に耳を傾ける支援・指導を継続していくことで、子どもの評価も高まっていくものだと考えています。

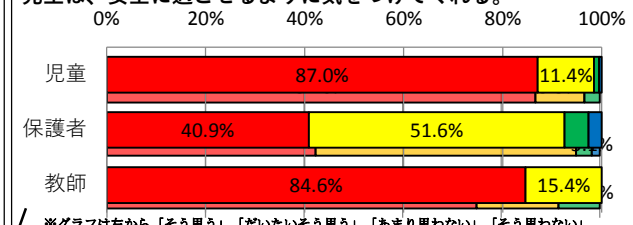
先生は、頑張ったことをよくほめてくれる。



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」

教師はできるだけ子どものよいところを見つけ、ほめて認める指導を意識していますが、それが全児童に伝わっていないかもしれません。引き続きほめる機会と場を工夫していきたいと思います。

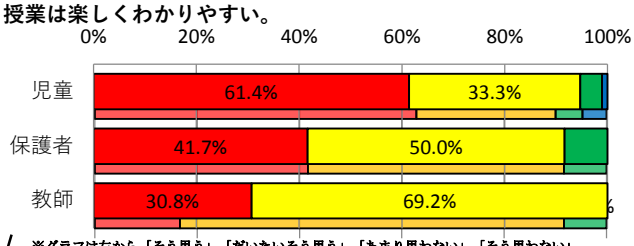
先生は、安全に過ごせるように気をつけてくれる。



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」

子どもたちの安全安心を確保するために、毎月1回安全点検日を設け、危険箇所等の早期発見に努めています。ただし、想定外の事故も起こり得るため、日頃から危険回避につながる視点で施設等の管理に心掛けていきたいと思います。

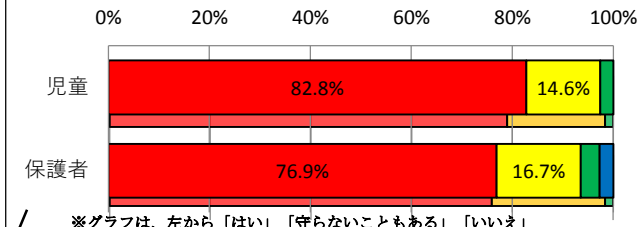
授業は楽しくわかりやすい。



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」

授業の中では、「分からない」ことを素直に言えることから始められることが大切だと思います。「間違い」を恐れたり「分からない」ことをそのままにすることが、授業をますますつまらないものにしていきます。今後も子どもたちの「分からない」を取り上げ、学ぶ楽しさを実感できる授業を目指します。

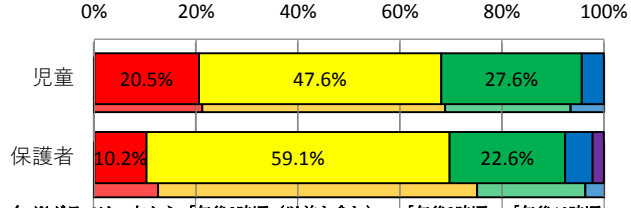
学校のきまりをきちんとまもっていますか。



※グラフは、左から「はい」「守らないこともある」「いいえ」

規範意識の向上が見られ、子どもたちの社会性が育ってきたことが感じられます。今後も集団生活をしていく上で、守るべききまりをしっかりと意識させていきたいと思います。

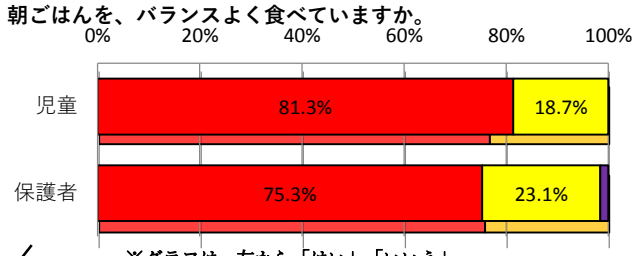
毎日、何時ごろねていますか。



※グラフは、左から「午後8時頃（以前も含む）」「午後9時頃」「午後10時頃」「午後11頃」

午後10時以降まで起きている児童が若干増えてきたように思われます。10時前には、完全に布団に入って目を閉じる習慣をつけさせたいと思います。

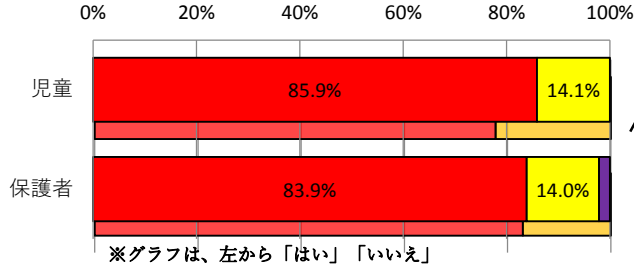
朝ごはんを、バランスよく食べていますか。



※グラフは、左から「はい」「いいえ」

中には朝食をほとんど食べずに登校してくる子がいるそうです。それがどんな悪影響を及ぼしているか、本人自身は分からないと思います。早起きと併せて、まずはしっかりと朝食を食べる習慣を身につけさせたいと思います。

学校や友だちの話を家でよくしますか。



※グラフは、左から「はい」「いいえ」

ご家庭で、毎日「今日は学校でどうだった？」とごく自然に聞けるご家庭の雰囲気を大切にしていただいたおかげ様で、児童の「はい」の割合が前期より増加しました。中には言いづらいこともあったかもしれませんが、ご家庭での何気ない会話が、子どものコミュニケーション能力として生かされるはずです。今後も短い時間で構いませんので、学校での様子を聞く機会を大切にしていただきたいと思います。

➢ 子どもたちがよりよく伸びていくための意見・提案（保護者より）

①学習に関する内容

✎ 他の学校より学力が低いように感じる。少人数で競争心があまりなく感じる。3年生以外の学年でも放課後学習をしたり、算数少人数学習をしたりするなど、中学校へ行ったときに他の2校との差が出ないようにしたい。
✎ 勉強に目を向けない、遊ぶこと楽をすることばかりに目が向いている。個々ではあるが、勉強の大切さや、やる気も育ててほしい。家庭では限界がある。
✎ 毎日の宿題が多く、かなり時間がかかる。親の負担も大きい。学校はクラス全体で伸びるよう努力をしているが、一人一人の力を伸ばすことはできていない。勉強でわからないことを学校で聞くことがあまりできていない。

✍ 子どもたちの学力・学習状況については、他の学校との比較値よりも、学習に向かう個人差の解消を課題として取り組む必要を感じます。そのためには、できるだけ個々の課題に目を向け一人一人を伸ばしていけるような指導の工夫と改善を図りたいと思います。例えば、今年度のように小規模校支援教員が配属されれば、ティームティーチング指導をさらに充実させていきたいと思います。

②生活指導・特別活動に関する内容

✎ 旗振り当番をしていて、挨拶をしても返してくれない子がいる。家庭や地域でも積極的に挨拶をすることで、子どもたちの手本となれるようにしたい。
✎ 学校外で他者に会った際、きちんとあいさつができるようにもう少し指導してほしい。
✎ 校内ではあいさつができているが、地域ではあいさつができないのが残念。
✎ 登下校中の子供にあいさつを呼び掛けているが、あいさつが返ってくることが年々少なくなってさみしい気持になる。
✎ 体操服の下にTシャツを着たり、タイツを着用することを許可してほしい。感じ方には個人差があるので、寒さを我慢して過ごすのではなく、考えて行動するようにしてほしい。
✎ 1年生の男児が、自転車で遊んでいるところをよく見かける。危ないと思う場面もみた。何か対応はしているのか。
✎ 給食がない日でも予定帳に「給食セット」、着替えなくてよい日でも「体操服」と書かれている。荷物が多くて大変だと思うので、必要な日は持ってこなくてよいと正しく伝えてほしい。
✎ 神戸小は、縦のつながりがあってとてもよいと思う。子どもが6年生のお兄ちゃんがやさしい、他学年の子と遊んだなどの話を聞かせてくれる。とてもうれしい。
✎ 児童数が少ない学校で、縦割りがしっかりしていて、生徒同士がほぼ全員顔と名前が一致することはとてもよいこと。上級生たちにやさしい子、面倒見のよい子がいて、放課後も一緒に遊んでくれるのが神戸小のよさである。

✍ 子どもたちが学校の外であいさつができない原因の一つとして、防犯上の理由もあるのではないかと推察します。しかし、最低限、朝の旗振りの方への挨拶はきちんとできるようにあいさつの指導は、繰り返していきたいと思います。
✍ 冬場の服装、持ち物の連絡方法については再考し、子どもが健康的に過ごせるように努めていきたいと思います。
✍ 自転車の危険な乗り方を見かけたら、すぐに知らせてください。命に係わることなので、できるだけ早い段階で適切な指導をしていきます。

③学校行事に関する内容

✎ 持久走大会で、保護者応援スペースがせまかった。撮影場所にも困った。終わった後に声を掛けたかったけど、子どもの応援席にも近づけなかった。安全面ばかりに気にして、細かくルールばかり作るのではなく、神戸小らしく親と子が楽しめる場にしてほしい。運動会の時のように、応援席が北側ではダメなのか？ほぼ日陰となり、寒そうだった。
✎ 持久走大会コース変更が残念。これまで毎年6年生がコースを整備している姿に心を打たれた。いろいろな行事が危険だから、ケガをするからと変更、縮小され残念。時代だから、風潮だからというのもわかるけど。
✎ 今年の持久走大会は、グラウンドのみで微妙だった。応援する場所もあまりなかったし、守っていない人もいたので、来年はもう少し考えてほしい。
✎ 平日仕事の保護者が多いと思うので、授業参観の一部や持久走などを土曜日にしてほしい。

✍ 持久走大会については、保護者の皆様の思いも理解できますが、子どもたちの心身の健康と安全を第一に考えてのコース変更であったことをもう一度ご理解いただきたいと思います。但し、応援のスペースに関しては再考していきます。
✍ 持久走大会の土曜日開催については、直近の土曜日に「ふれあい祭り」を行うため、来年度も考えてはいません。但し、4月の保護者会とPTA総会は、土曜日に開催する予定です

④教職員に関する内容

✎ トラブルに対して先生方全員でサポートしてくださり、子どもたち一人一人を温かく見守っていただき感謝している。
✎ 親がやるべきことまで先生にやっていただいていると思うことがあり、ありがたく思う。
✎ 担任の先生が、子どもの目標を応援してくれることがとてもうれしい。先生の一人一人に向き合っている姿がとても強く感じられ、親としても嬉しい。
✎ 担任の先生には、いつも温かく優しい言葉がけをいただき、子どもも学校生活をとても楽しんで送っていることが伝わり、親としてとても嬉しく感謝の気持ちでいっぱい。入学して８ヶ月が過ぎ、数々の学校行事を迎える度に心身ともに成長する度に心身ともに成長する姿を見ることができ、学校で指導していることができ、学校で指導していただいていることを家でも励ましながら頑張っていきたい。どの学年もいろいろなことに真剣に取り組む姿は、立派だと感心している。
✎ してはいけないことをしたときや、宿題のことなど、もう少し厳しく対応してほしい。親と先生との叱り方の温度差が感じられることが多々ある。
✎ 暴力的な子に対する学校の対応を明確にしてほしい。その親にもしっかり伝えているか、先生方がみんな同じ対応をしているか。学童でも嫌な思いをしている。怪我をするくらいの問題でなければ、連絡をしないのか。
✎ 昨年度までのいじめや人間関係についていろいろ考えせられた。精神的につらいこともあったが、しっかり考えることができよい勉強となった。お願いしたいことは、子どもの話にしっかりと向き合ってほしいということ。気持ちを受け止めた上で、どこがよくてどこが悪いのかをはっきりと伝えていただくことで、子どもは自分の言動や友達との関わり方を考えられると思う。子どもの心に寄り添っていただきたい。
✎ 一人一人の家庭環境を理解して、その子どもたちに向き合った対応をして下されば、少しずつよくなっていくと思う。
✎ 児童、保護者からの信頼回復のみ。

✍ 子どもへの関わり方、保護者への伝え方など、今まで以上に慎重に対応していく必要を感じます。特に、「いじめ」の定義が変わり、昔は些細なこととして扱われたことも「いじめ」として対応していかなければならなくなったことを保護者の皆様にも共通理解をしていただき、ご協力をいただきたいと思います。

⑤その他の内容

✎ 都合により旗振り当番に出られない場合は、自分の担当場所で子どもたちの登校を見守れるようにしたい。その際に「おはようございます」と声かけもしたい。
✎ 校庭の雑草が伸びすぎ。クヌギ林にはネズミがいる。感染症も心配。
✎ 子どもがのびのび楽しそうに日々過ごしているので、このまま成長を期待する。
✎ クラスであったことをいろいろ話してくれる。友達との関わりも深いようで、その日にあった友達のいいところの話を聞くこともよくある。

✍ 旗振り当番の件に関しては、PTA生活指導部でご検討いただけたらと思います。
✍ 校庭の雑草に関しては、なにぶん広い敷地であるため、職員の手で草を刈っても、草の成長に追いつかない現状にあります。そこで、来年度のPTA奉仕作業の時期や回数等の見直しを提案していきたいと考えています。

後期学校アンケートへのご協力ありがとうございました。前期と比べますと、私たち教職員への励ましや要望が多く書かれていて、学校に対する期待のあらわれであると、真摯に受け止めています。
さらに、目の前にいる一人一人の子どもに寄り添い、その子らしく輝けるよう日々の職務を全うしなければいけないと、改めて自覚をいたしました。
このアンケートの結果を、来年度に向けて生かしていきたいと思います。今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。